

※各美術館・博物館等では、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開館しており、来館いただいた方には、マスク着用や検温、利用者名簿の作成などへのご協力をお願いしております。

## 道立近代美術館 5月事業のご案内

### ▼特別展「日本浮世絵博物館秘蔵 国貞 広重 国芳 コレクション ～絵師たちが見た江戸の楽しみ～」【有料】

期 間：4月17日（土）～6月20日（日）

場 所：道立近代美術館 展示室B

内 容：10万点を超える日本最大級の浮世絵コレクションを誇る日本浮世絵博物館（長野県松本市）。同館コレクションの中から、歌川国貞・広重・国芳ら江戸後期の浮世絵師たちが描いた、江戸庶民の「楽しみ」の世界を紹介します。

観覧料：一般1,500円、高大生800円、小中生600円

※この料金以外に、団体料金や近美コレクションとの同時観覧料金等があります。詳細はお問い合わせください。

### ▼近美コレクション【有料】

場 所：道立近代美術館 展示室A

期 間：4月17日（土）～7月4日（日）

展覧会名

#### ○コレクション・ストーリーズ「北海道の美術」

内 容：明治時代末に活躍した洋画家から、現代のアートシーンを彩る美術家まで、本道ゆかりの作家の豊かな創作活動の一端をご覧ください。

#### ○コレクション・ストーリーズ「現代ガラス」

#### ○「新収蔵品展」※5月23日まで

内 容：横山大観「秋思」ほか、令和2年度の新収蔵品を紹介します。

#### ○「この1点を見てほしい。」

内 容：5,600点以上の当館コレクションから学芸員が1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力をご紹介します。

4月17日（土）～5月23日（日）【山本正年《膚》1966年】

5月25日（火）～7月4日（日）【ハイム・スーチン《祈る男》1921年頃】

近美コレクション（展覧会）観覧料：一般510円、高大生250円

※この料金以外に、団体料金などの割引・減免があります。詳細はお問い合わせください。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※土曜日は高校生は無料となります。

▼「近美コレクション」ギャラリー・ツアー【有料／近美コレクション観覧料】

内 容：ボランティアが近美コレクションを解説します。

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

日 時：火～土曜日 11：30～12：00（展示室A 1階）

13：00～13：30（展示室A 1階）

14：00～14：30（展示室A 2階）

※休館日、祝日を除く。

▼「近美コレクション」ミュージアム・トーク【有料／近美コレクション観覧料】

内 容：学芸員が作品について講話します。

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

日 時：5月2日（日）、9日（日）、16日（日）、23日（日）、30日（日）

各日14：00～（約30分）

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（入場は16：30まで）

5月の休館日：6日（木）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

【お問合せ】

北海道立近代美術館（〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目）

電話011-644-6882（総務企画部総務企画課）

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/>

## mima 北海道立三岸好太郎美術館 5月事業のご案内

▼所蔵品展「色彩と衝動—人物画を中心に」【有料】

期 間：4月24日（土）～6月13日（日）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室1-5

内 容：「赤色は激情、青色は冷徹、黄色は強靱なる意志力」。三岸は色には感情に訴える強い力があると語っています。本展では人物画を中心に色と筆のタッチに注目しながら、作品の魅力に迫ります。

○同時開催「描かれた南部忠平」

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室6、7

内 容：南部忠平（1904～1997）は、札幌出身でロサンゼルスオリンピック（1932）の三段跳金メダリスト。三岸が描いた南部の勇姿とともに、関連資料を紹介します。

観覧料：一般 510円、高大生 250円

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※毎週土曜日は高校生は無料となります。

※この料金以外に、団体料金や道立近代美術館「近美コレクション」展と併せてご覧いただく場合の割引料金があります。詳しくは、当館ホームページをご覧ください。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

5月の休館日：6日（木）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

【お問合せ】

mima 北海道立三岸好太郎美術館（〒060-0002 札幌市中央区北2条西15丁目）

電話 011-644-8901 テレフォンサービス 011-621-7000

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/mkb/>

## 道立旭川美術館 5月事業のご案内

▼特別展 「歌川広重 二つの東海道五拾三次」展【有料】

期 間：4月17日（土）～6月27日（日）

場 所：道立旭川美術館 第1展示室

内 容：江戸時代の浮世絵師・歌川広重（1797-1858）の代表作である「東海道五拾三次」。そのうち最もよく知られている「保永堂版」（1833-34年刊）と、十数年後に刊行され、同じ宿場を季節、時間、天候などを違えて描き出した「丸清版」（1847-51年刊）を同時に展観することで、庶民が東海道に抱いた憧憬と、時代の要請に敏感に反応した広重の実像に迫ります。

観覧料：一般 1,000円、高大生 600円、小中生 300円

※この料金以外に、団体料金や常設展とのセット料金等があります。

▼「歌川広重」展 30分でわかる！学芸員の見どころ解説【無料】

日 時：5月15日（土）、6月12日（土）14：00～（約30分）

講 師：当館学芸員

会 場：当館講堂（定員30名 聴講無料）

▼常設展 「匠の美」展【有料】

期 間：4月17日（土）～6月27日（日）

場 所：道立旭川美術館 第2展示室

内 容：木は、樹種によって異なる色や硬さを持ち、さまざまな木目が自然の紋様とな

ります。木を素材とする作家たちは、木の特性を生かし、指物、曲物、木象嵌、寄木などの多様な技法によって唯一無二の作品を制作しています。本展では、そうした創意と工夫を凝らした匠の美を紹介します。

常設展観覧料：一般260円、高大生150円

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※土曜日は高校生は無料となります。

※この料金以外に、団体料金や特別展とのセット料金等があります。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

5月の休館日：6日（木）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

【お問合せ】

北海道立旭川美術館（〒070-0044 旭川市常磐公園内）

電話 0166-25-2577

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/abj/top.htm>

## 道立函館美術館5月事業のご案内

▼特別展 「北海道立近代美術館 友田コレクション × 荒井記念美術館 ピカソ・コレクション 西洋版画の魅力」

期間：4月24日（土）～6月20日（日）

（前期：～5月23日（日）、後期：5月25日（火）～）

場所：函館美術館特別展示室

内容：北海道立近代美術館が所蔵する「友田コレクション」は、詩人で児童文学者の友田多喜雄氏が収集した、シャガールやルオー、マチスなどの作品を含む近現代の名作版画コレクションです。一方、岩内町にある一般財団法人荒井記念美術館のピカソ・コレクションも、故・荒井利三氏が収集した国内屈指のコレクションです。本展では、これら二つのコレクションから、西洋版画の名品約450点をご紹介します。

観覧料：一般920（720）円、高大生610（410）円、小中生300（200）円

※（ ）内は前売、リピーター割引、どうなんアートリンク、及び10名以上の団体料金

▼ミュージアム・コレクション（常設展）

「没後20年 金子鷗亭 天来と鷗亭」「没後50年 田辺三重松」

期間：4月24日（土）～9月26日（日）

場 所：函館美術館鷗亭記念室、常設展示室

内 容：「没後20年 金子鷗亭 天来と鷗亭」では、現代書の世界を切り拓いた金子鷗亭と、その師である比田井天来の書をご覧ください。

さらに、当館鷗亭記念室において、6月20日（日）までは「特別展示 蠣崎波響」にて当館所蔵の蠣崎波響の作品をご紹介します。

また、「没後50年 田辺三重松」では、北海道の自然や函館の街などを大らかな筆致で描き、独自の画風を確立した田辺三重松の没後50年を振り返り、彼の代表作をご紹介します。

ミュージアム・コレクション（常設展）観覧料：

一般260（210）円、高大生150（110）円

※（ ）内は10名以上の団体料金

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※毎週土曜日は高校生は無料となります。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

5月の休館日：6日（木）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

【お問合せ】

北海道立函館美術館（〒040-0001 函館市五稜郭町37-6）

電話0138-56-6311

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hbj/>

道立帯広美術館は令和3年9月22日をもって開館30周年を迎えます。

道立帯広美術館5月事業のご案内

▼特別展「手島圭三郎 絵本原画展 森といのちの交響詩」【有料】

期 間：令和3年4月17日（土）～6月27日（日）

場 所：道立帯広美術館 主展示室

内 容：版画家、手島圭三郎（1935-）による北海道の野生動物を主人公にした絵本は、木版画表現の力強さと繊細さを兼ね備え、国内外で高い評価を受けています。絵本原画にあらわれた、大自然の神秘とロマンティズムに満ちた世界をご紹介します。

観覧料：一般700円、大学生400円、高校生以下無料

※高校生以下無料（帯広美術館ボランティア「しらかばの会」2021年度無料招待事業）

※この料金以外に、団体料金やコレクション・ギャラリーとの共通観覧料金、リピーター料金などがあります。

※障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

▼コレクション・ギャラリー「子どものイメージ」【有料】

期 間：令和3年4月17日（土）～6月27日（日）

場 所：道立帯広美術館 コレクション・ギャラリー

内 容：当館所蔵作品の中から、子どもをテーマとしたポスター・版画・油彩画を紹介  
します。表現された子どもたちの様々なしぐさ・表情をご覧ください。

コレクション・ギャラリー（展覧会）観覧料：一般260円、高大生150円

※この料金以外に、団体料金や特別展との共通観覧料金があります。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※高校生は、毎週土曜日、こどもの日（5/5）が無料となります。

▼開館30周年記念事業

日 時：令和3年4月17日（土）～令和4年3月13日（日）

内 容：平成3（1991）年生まれの方、9月22日生まれの方に通年で特別展の招待券を  
プレゼントします。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

5月の休館日：6日（木）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

【お問合せ】

北海道立帯広美術館（〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地）

電 話 0155-22-6963

ホームページ <http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/obj/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/do.obimu>

## 道立北方民族博物館5月事業のご案内

▼常設展示「北方民族の文化とオホーツクの文化」【有料】

期 間：4月1日～3月31日（通年）

場 所：道立北方民族博物館 常設展示室

内 容：世界各国から集めた約900点の資料を、衣食住・生業等のテーマ別に展示し、  
北方に暮らす人びとの文化を紹介しています。

観覧料：一般550円、高大生200円、小中生・65歳以上無料  
※小中生、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。  
※毎週土曜日は高校生は無料となります。

▼ロビー展「A.V. スモリャーク写真展 ロシアの民族学者がみた1950～70年代のナーナイの暮らし」【無料】

期 間：4月24日（土）～5月23日（日）

場 所：道立北方民族博物館 ロビー

内 容：ロシアの民族学者A.V. スモリャーク氏がロシア・ハバロフスク地方で撮影したナーナイの写真を紹介します。

▼解説会「ロビー展解説会」【無料】

日 時：5月1日（土）10：00～10：30

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着20名（要申込）

内 容：ロビー展「A.V. スモリャーク写真展 ロシアの民族学者がみた1950～70年代のナーナイの暮らし」の解説会を行います。

講 師：山田 祥子（当館学芸員）

▼解説会「ロビー展解説会」【無料】

日 時：5月1日（土）10：00～10：30

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着20名（要申込）

内 容：ロビー展「A.V. スモリャーク写真展 ロシアの民族学者がみた1950～70年代のナーナイの暮らし」の解説会を行います。

講 師：山田 祥子（当館学芸員）

▼上映会「北方民族博物館シアター春」【無料】

日 時：5月2日（日）10：00～11：30

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着20名（要申込）

内 容：北方民族の生活を紹介する映像を上映します。

講 師：笹倉 いる美（当館学芸主幹）

▼「ゴールデンウィークイベント」【無料】

日 時：5月3日（月・祝）～5月5日（水・祝） 9：30～16：30

場 所：道立北方民族博物館 ロビー

定 員：各日先着100名

内 容：北方の動物などをモチーフにしたオリジナルマグネットのキットを配布しま

す。

▼はくぶつかんクラブ「皮でつくるタオル掛け」【無料】

日 時：5月15日（土）10：00～12：00

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着12名（要申込）

内 容：皮をつかってタオル掛けを作ります。

講 師：菅原 章子（当館解説員）

▼講座「古代岩面に魅せられた人々～シカチ・アリヤンのナーナイと観光者」【無料】

日 時：5月16日（日）10：00～11：30

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着20名（要申込）

内 容：ロビー展「A.V. スモリヤーク写真展」にあわせ、ロシアのハバロフスク地方にあるナーナイ文化の観光地について紹介します。

講 師：井出 晃憲氏（稚内北星学園大学准教授）

▼館長講座「シベリアのトナカイ遊牧民コリヤーク」【無料】

日 時：5月29日（土）10：00～11：30

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着20名（要申込）

内 容：ロシアのコリヤーク民族について紹介します。

講 師：呉人 恵（当館館長）

○お知らせ

開館時間：9：30～16：30

5月の休館日：6日（木）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

【お問合せ】

北海道立北方民族博物館（〒093-0042 網走市字潮見309番地1）

電話0152-45-3888

<http://hoppohm.org>

## 道立文学館5月事業のご案内

▼特別展「太宰治－創作の舞台裏」【有料】

日 時：4月17日（土）～6月6日（日）



場 所：道立文学館特別展示室

内 容：青森県北津軽郡金木村（現・五所川原市）に、大地主の6男として生まれた太宰治は、その出自と肉親との複雑な関係などに苦悩し、破滅的な生活を送りながらも39年の短い生涯において多くの作品を残しました。とりわけ晩年の名作「斜陽」、「人間失格」をはじめとする数々の作品は、時代を超えた感性をそなえ、世代や性別を問わず幅広い読者を得ています。

本展では、日本近代文学館の「太宰治文庫」を中心に厳選した直筆原稿やノートなどの資料により、作品が生み出されるまでの「創作の舞台裏」を紹介します。

なお、今回公開する「お伽草紙」の完全原稿は、一昨年、存在が明らかになり、東京に続いて2番目の公開となります。

観覧料：一般700円、高大生・65歳以上450円、小中生300円

▼見どころ解説【無料】

日 時：5月20日（木）、27日（木）

各日14：00～（約30分）

開 場：道立文学館講堂

定 員：25名（申込不要；先着）

講 師：道立文学館学芸員

▼文芸講演会Ⅰ「太宰治の『右大臣実朝』を考えるー作品が生み出されるまでー」【無料】

日 時：5月8日（土）14：00～15：30

会 場：道立文学館講堂

講 師：工藤正廣氏（道立文学館 館長）

定 員：25名（要申込）

申込方法：4月20日（火）9：00より電話で受付

▼文芸講演会Ⅱ「太宰治 防空壕・はやり歌幻想ー乱歩・淳・小津などー」【無料】

日 時：5月16日（日）14：00～15：30

会 場：道立文学館講堂

講 師：中澤千麿夫氏（北海道武蔵女子短期大学教授）

定 員：25名（要申込）

申込方法：4月27日（火）9：00より電話で受付

▼朗読会「『お伽草紙』で味わう人間・太宰治」【無料】

日 時：5月30日（日）13：30～15：00

開 場：道立文学館講堂

講 師：村井裕子氏（フリーアナウンサー）・藪 淳一氏（フリーアナウンサー）

定 員：25名（要申込）

申込方法：5月14日（金）9：00より電話で受付

▼上映会【無料】

作 品：「真白き富士の嶺」（1963年/99分 太宰治原作 吉永小百合・芦川いづみ）

日 時：5月23日（日）13：30～

会 場：道立文学館講堂

定 員：25名（要申込）

申込方法：5月7日（金）9：00から電話で申し込み受付

▼常設展「北海道の文学」【有料】

期 間：4月1日～3月31日（通年）

場 所：道立文学館常設展示室

内 容：明治以降150年の歴史の中で育まれてきた北海道の文学。小説、詩、短歌、俳句、川柳、またアイヌ民族の口承文芸、さらには児童文学や評論、随筆など、それぞれの分野に珠玉の作品が生まれました。その担い手としてパイオニア精神を発揮した多くの文学者と、今なお読み継がれている多くの作品の光と影とが、常設展示室に漂っています。

○常設展アーカイヴ 文学者たちの愛した品々【有料／常設展観覧料】

期 間：4月10日（土）～7月4日（日）

場 所：道立文学館常設展示室内

常設展観覧料：一般500円、高大生250円。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料

※高校生は土曜日は無料となります。

▼映像作品鑑賞のつどい【無料】

作 品：「風と樹と空と」（1964年/86分 吉永小百合・浜田光夫）

日 時：5月2日（日）13：30～

会 場：道立文学館講堂

定 員：25名（要申込）

申込方法：4月18日（日）9：00から電話で申し込み受付

▼～わくわく～こどもランド「こいのぼりをつくろう」【無料】

日 時：5月5日（水・祝）10：00～15：00

会 場：手作りコーナー

内 容：紙工作でこいのぼりをつくろう

定 員：30名（当日先着）

▼～わくわく～こどもランド「人形劇」【無料】

日 時：5月5日（水・祝） 11：00～12：00  
会 場：道立文学館講堂  
内 容：人形劇の上演  
定 員：25名（要申込）  
申込方法：4月21日（水）9：00から電話で申し込み受付

▼月例朗読会 「北の響～名作を声にのせて」【無料】

日 時：5月13日（木） 13：30～  
場 所：道立文学館講堂  
朗 読：ドラマチックリーディンググループ蔵  
定 員：25名（要申込）  
申込方法：4月29日（木）9：00から電話で申し込み受付

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）  
5月の休館日：6日（木）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

【お問合せ】

北海道立文学館（〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4）  
電話011-511-7655  
<http://www.h-bungaku.or.jp>

## 道立釧路芸術館5月事業のご案内

▼展覧会「Botanical Kingdom 花と樹の王国」【有料】

〈アートギャラリー北海道関連事業〉

期 間：4月24日（土）～6月30日（水）

会 場：道立釧路芸術館 展示室

内 容：草、花、樹木は、心をいやしてくれる不思議な「ちから」をそなえています。  
美術においても重要なモチーフとして古来、表現されてきました。日本画、  
油彩、水彩、版画、写真、化石、約200点により、圧倒的存在感を放つ花樹草  
木の世界をご堪能ください。

観覧料：一般900円、高大生400円、小中生100円

※このほか、10名以上の団体、親子、リピーター料金があります。

詳しくは、当館ホームページでご確認ください。

※なお、釧路・根室管内在住の中学生以下は、無料です。

（釧路芸術館ボランティアの会SOA招待事業「そあっこ」）

※また、障害者手帳等をお持ちの方も無料で観覧できます。

▼「Botanical Kingdom 花と樹の王国」展ギャラリー・ツアー【有料／本展観覧料】

日 時：5月3日（月・祝）、4日（火・祝）、5日（水・祝）、15日（土）、22日（土）

14：00～（約30分）

会 場：道立釧路芸術館 展示室

ご案内：当館学芸員

▼「Botanical Kingdom 花と樹の王国」展コレクション・トーク

「釧路のお宝・植物化石」【有料／本展観覧料】

日 時：5月8日（土） 14：00～（約30分）

会 場：道立釧路芸術館 展示室

講 師：石川孝織氏（釧路市立博物館館長補佐 学芸員、産業担当）

加藤ゆき恵氏（釧路市立博物館学芸員、植物担当）

▼新収蔵展示 奈良原一高の写真【無料】

期 間：4月24日（土）～6月30日（水）

会 場：道立釧路芸術館 フリーアートルーム

内 容：世界各地のさまざまな場取材し、人間が生きる諸相を撮影した写真家・奈良原一高（1931～2020）。昨年度受贈した149点のなかから〈人間の土地〉、〈ヨーロッパ・静止した時間〉、〈ヴェネツィアの夜〉など初期から80年代までを中心とする代表的なシリーズ作品をご紹介します。

▼「奈良原一高の写真」展ギャラリー・ツアー【無料】

日 時：5月30日（日） 14：00～（約30分）

会 場：道立釧路芸術館 フリーアートルーム

ご案内：当館学芸員

▼アートシネマ館【無料】

日 時：5月29日（土）10：00～／14：00～（2回上映）

上映作品：「手紙」 2006年／日本／カラー／121分

監 督：生野慈朗

会 場：道立釧路芸術館 アートホール

定 員：当日先着100名（各回）

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00

5月の休館日：6日（木）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

※催し物は特記がない場合、申し込み不要です。

【お問合せ】

北海道立釧路芸術館（〒085-0017 釧路市幸町4-1-5）

電話：0154-23-2381

<http://www.kushiro-artmu.jp>

## 道立埋蔵文化財センター5月事業のご案内

▼常設展示「掘り出された北の歴史」展【無料】

期 間：4月1日～3月31日（通年）

場 所：道立埋蔵文化財センター 展示室

内 容：展示室では北海道の遺跡や出土遺物について紹介しています。素材の特性を生かしながら、どのように手を加え、利用してきたのか、さまざまな道具の中に北海道の大地に生きた先人の知恵と工夫の跡をご覧ください。

▼企画展示「(公財)北海道埋蔵文化財センター令和2年度調査成果展」【無料】

期 間：3月27日（土）～5月23日（日）

場 所：道立埋蔵文化財センター常設展示室・ホール

内 容：(公財)北海道埋蔵文化財センターが令和2年度に行った調査成果を紹介します。

▼考古学講座「岡本太郎が見た縄文土器の四次元的世界」【無料】

日 時：5月29日（土）13:30～15:30

場 所：道立埋蔵文化財センター 研修室

定 員：96名（予定）

内 容：岡本太郎が見た「縄文」とは何だったのか。岡本が言う「四次元との対話」からくり出される不可思議な造形を手がかりに、縄文時代の人々の世界観を探っていきます。

講 師：石井匠氏(国立歴史民俗博物館科研費支援研究員・岡本太郎記念館客員研究員)

○お知らせ

開館時間：9:30～16:30

5月の休館日：6日（木）、10日（月）、11日（火）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

**【お問合せ】**

北海道立埋蔵文化財センター（〒069-0832 江別市西野幌6 8 5 - 1）

電話0 1 1 - 3 8 6 - 3 2 3 1

<http://www.domaibun.or.jp/>